

農林水産統計

STATISTICS OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES

平成17年5月12日発表

平成16年水産加工品生産量（九州）
（陸上加工品生産量）

【調査結果の概要】

九州における平成16年（1～12月）の水産加工品生産量は、次のとおりです。

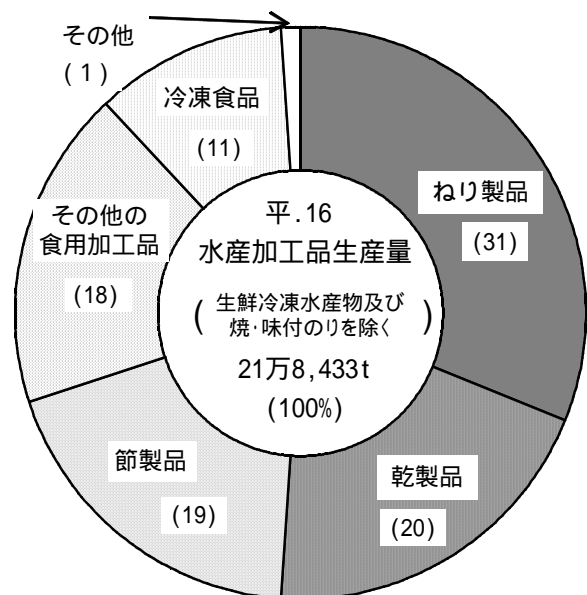
- 1 水産加工品（生鮮冷凍水産物及び焼・味付のりを除く。）の生産量は21万8,433tで、前年に比べ8%減少しました。
これは、すべての品目で生産量が減少したためです。
加工種類別の生産量構成割合は、ねり製品が31%で最も高く、次いで乾製品20%、節製品が19%となっています。
- 2 生鮮冷凍水産物の生産量は27万3,010tで、前年に比べ13%増加しました。
これは、その他の魚類、さば類等が減少したものの、いわし類、いか類等が増加したためです。

表1 加工種類別生産量

加工種類	平.16	対前年比
	t	%
計（生鮮冷凍水産物及び焼・味付のりを除く）	218 433	92
うち、		
ねり製品	66 888	90
冷凍食品	24 668	96
乾製品	43 538	99
節製品	42 042	99
その他の食用加工品	38 565	84
その他	2 732	77
^{注)} 生鮮冷凍水産物	273 010	113

注：水産物の生鮮品（丸のほか、フィレー等を含む。）を冷凍室において凍結したものです。

図1 加工種類別の生産量構成割合



【 解 説 】

1 水産加工生産量

主な加工種類別の生産量は、以下のとおりです。

(1) ねり製品

ねり製品の生産量は6万6,888tで、前年に比べ10%減少しました。

これは、やきちくわ、かまぼこ類、魚肉ハムソーセージ類がそれぞれ減少したためです。

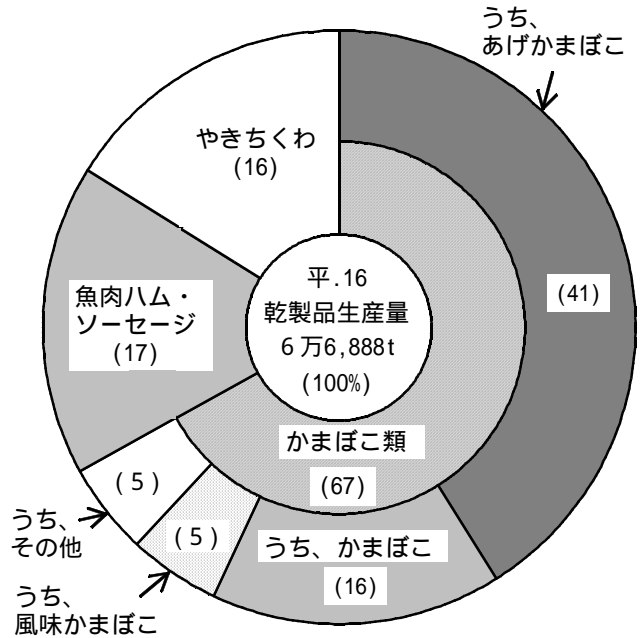
主要品目のかまぼこ類の生産量は4万4,855tで、前年に比べ4%減少しました。

ねり製品の構成割合は、かまぼこ類が67%で最も高く、次いで、魚肉ハム・ソーセージが17%、やきちくわが16%となっています。

九州の主産県は福岡、佐賀、鹿児島となっています。

注：外側の円構成は、内側の円構成を細分類したものです。

図2 ねり製品の構成割合



(2) 冷凍食品

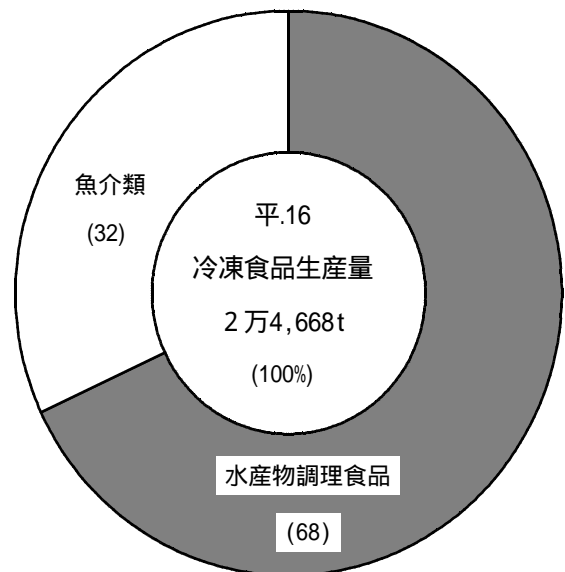
冷凍食品の生産量は2万4,668tで、前年に比べ4%減少しました。

これは、魚介類、水産物調理食品でそれぞれ4%減少したためです。

冷凍食品の構成割合は、水産物調理食品が68%、魚介類が32%となっています。

九州の主産県は鹿児島、長崎、佐賀となっています。

図3 冷凍食品の構成割合



(3) 乾製品

乾製品の生産量は4万3,538tで、前年に比べ1%減少しました。

主要品目の塩干品の生産量は2万5,328tで、前年に比べ5%減少しました。

これは、ほっけ製品が増加したものの、いわし製品を中心に、ほとんどの品目が減少したためです。

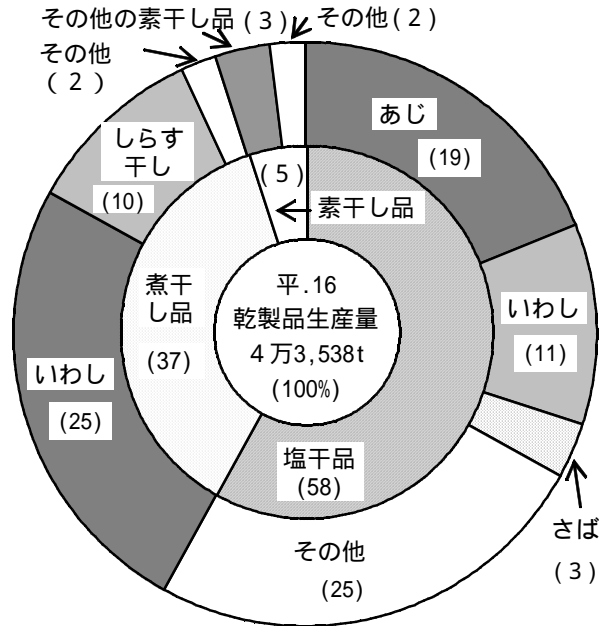
煮干し品の生産量は1万5,890tで、前年に比べ4%増加しました。

これは、煮干し品の中でウエイトの高い、いわし製品が減少したものの、しらす干し製品が増加したためです。

九州の主産県は、長崎、鹿児島で、乾製品のうち、煮干し品の長崎の生産量は全国1位となっています。

注：外側の円構成は、内側の円構成を細分類したものです。

図4 乾製品の構成割合



(4) 節製品

節製品の生産量は4万2,042tで、前年に比べ1%減少しました。

これは、けずり節は増加したものの、節類が減少したためです。

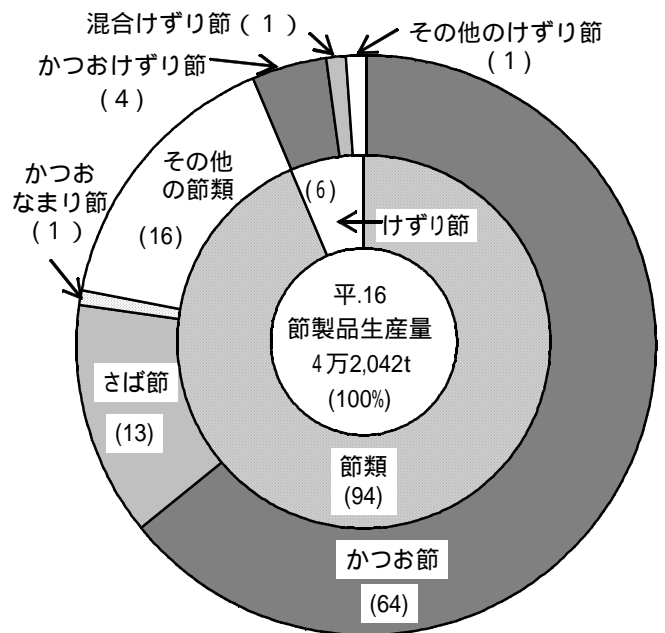
節製品の構成割合は節類が94%、けずり節が6%となっています。

また、かつお節、かつおなまり節及びかつおけずり節のかつお製品では、節製品の69%を占めています。

九州の主産県は、鹿児島、熊本で、鹿児島が生産量は全国1位となっています。

注：外側の円構成は、内側の円構成を細分類したものです。

図5 節製品の構成割合



(5) その他の食用加工品

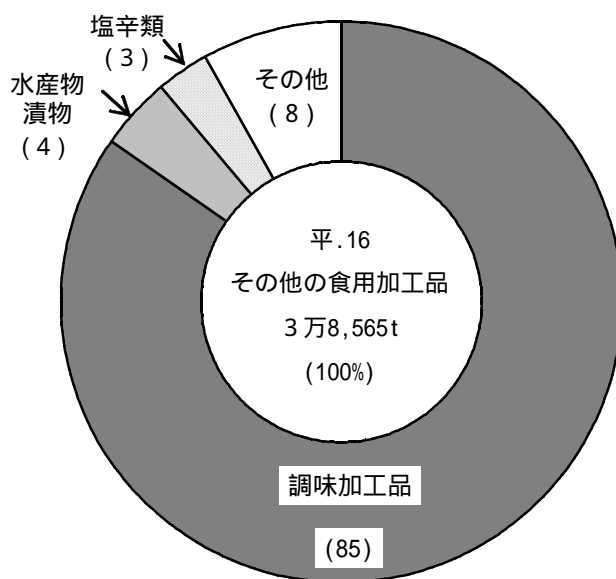
その他の食用加工品は3万8,565tで、前年に比べ16%減少しました。

これは、水産物づくりに類は増加したものの、多くの品目で減少するなか、特にその他品目での減少が大きかったためです。

その他の食用加工品の構成割合は、調味加工品が85%、水産物漬物が4%、塩辛類が3%となっています。

九州の主産県は福岡で、調味加工品のうち、からしめんたいこの生産量は全国1位となっています。

図6 その他の食用加工品の構成割合



2 生鮮冷凍水産物の生産量

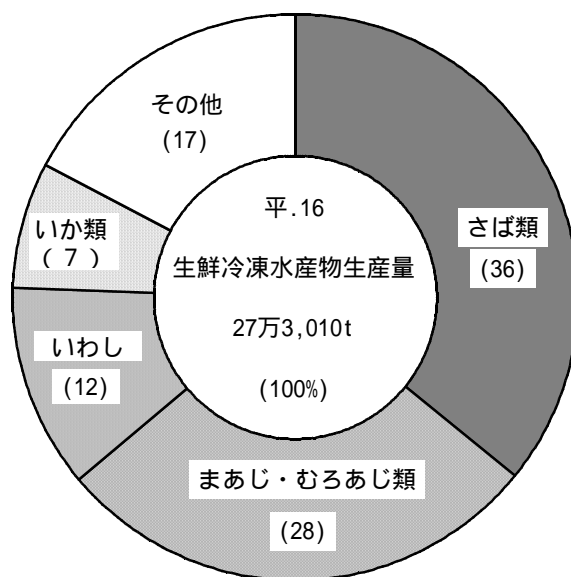
生鮮冷凍水産物の生産量は、27万3,010tで、前年に比べ13%増加しました。

これは、その他の魚類、すり身類等で減少したものの、いわし類、まあじ・むろあじ類等が増加したためです。

生鮮冷凍水産物の構成割合は、さば類が36%で最も高く、次いでまあじ・むろあじ類28%、いわし類12%、いか類7%となっています。

九州の主産県は長崎、鹿児島、佐賀となっています。

図7 生鮮冷凍水産物の構成割合



【 統 計 表 】

1 品目別生産量

(1) 水産加工品生産量 (生鮮冷凍水産物は除く。)

単位：t

品 目	平.16	15	対前年差	対前年比
計	218 433	236 263	17 830	92 %
ねり製品	66 888	74 680	7 792	90
やきちくわ	10 697	14 037	3 340	76
かまぼこ類	44 855	46 931	2 076	96
包装かまぼこ	1 106	1 234	128	90
かまぼこ	10 916	11 480	564	95
あげかまぼこ	27 469	28 959	1 490	95
ゆでかまぼこ	645	799	154	81
風味かまぼこ	3 186	3 370	184	95
その他のかまぼこ類	1 533	1 089	444	141
魚肉ハム・ソーセージ類	11 336	13 712	2 376	83
1) 冷凍食品	24 668	25 707	1 039	96
2) 魚介類	8 014	8 355	341	96
3) 水産物調理食品	16 654	17 352	698	96
乾製品	43 538	44 127	589	99
素干し品	2 320	2 268	52	102
するめ	617	573	44	108
にしん	-	7
いわし	53	57	4	93
その他の素干し品	1 650	1 631	19	101
塩干品	25 328	26 541	1 213	95
いわし	4 838	5 849	1 011	83
あじ	8 355	8 407	52	99
さんま	19	45	26	42
さば	1 438	1 482	44	97
かれい	48	55	7	87
ほっけ	434	275	159	158
その他の塩干品	10 196	10 428	232	98
煮干し品	15 890	15 318	572	104
いわし	10 768	11 023	255	98
しらす干し	4 283	3 495	788	123
いかなご・こうなご	4	16	12	25
貝柱	-	-	-	-
その他の煮干し品	835	784	51	107
塩蔵品	x	x
いわし	81	542	461	15
さば	965	1 014	49	95
さけ・ます	219	543	324	40
たら・すけとうだら	50	50	-	100

注：1) 「冷凍食品」は、水産物を主原料として加工又は調理した後、マイナス18℃以下で凍結し、凍結状態で保持した包装食品です。

2) 「魚介類」は、魚介類の切り身、むきえび等の加工品です。

3) 「水産物調理食品」は、水産物のフライ、天ぷら等、水産物を主原料とした調理食品です。

単位：t

品 目	平.16	15	対前年差	対前年比
				%
塩蔵品(つづき)				
たらこ・すけとうだらこ	513	547	34	94
さけ・ますの卵	2	4	2	50
かずのこ	x	113
さんま	14	14	-	100
その他の塩蔵品	x	x
くん製品	x	x
節製品	42 042	42 311	269	99
節類	39 408	39 780	372	99
かつお節	27 035	24 086	2 949	112
かつおなまり節	360	289	71	125
さば節	5 384	8 505	3 121	63
その他の節類	6 629	6 900	271	96
けずり節	2 634	2 531	103	104
かつおけずり節	1 718	1 522	196	113
混合けずり節	495	533	38	93
その他のけずり節	421	476	55	88
その他の食用加工品	38 565	45 874	7 309	84
塩辛類	1 134	1 255	121	90
いか塩辛	686	785	99	87
その他の塩辛	448	470	22	95
水産物漬物	1 570	1 971	401	80
醤油漬けさけ・ますの卵	232	436	204	53
その他の水産物漬物	1 338	1 535	197	87
調味加工品	32 711	32 368	343	101
水産物つくだ煮類	3 983	2 622	1 361	152
こんぶつくだ煮	1 012	760	252	133
その他のつくだ煮類	2 971	1 862	1 109	160
乾燥・焙焼・揚げ加工品	6 062	5 910	152	103
さくら干し・みりん干し	2 266	2 290	24	99
いか製品	860	874	14	98
その他の乾燥・焙焼・揚げ加工品	2 936	2 746	190	107
その他の調味加工品	22 666	23 836	1 170	95
からしめんたいこ	20 407	21 239	832	96
その他	2 259	2 597	338	87
その他	3 150	10 280	7 130	31
	千枚	千枚	千枚	
4) 焼・味付のり	x	x

注：4)は、宮崎及び鹿児島を除く5県で生産されているが、大分において経営体数が3未満であり、秘密保護のため非公表であることから、九州計も非公表となります。参考として、福岡、佐賀、長崎及び熊本の本4県の生産量は22億9,191万枚で前年並みとなりました。

1 品目別生産量(つづき)

(2) 生鮮冷凍水産物生産量

単位：t

品 目	平.16	15	対前年差	対前年比
1) 生鮮冷凍水産物	273 010	242 334	30 676	113
まぐろ類	2 342	2 243	99	104
びんなが	398	342	56	116
めばち	513	414	99	124
きはだ	1 184	1 033	151	115
その他のまぐろ類	247	454	207	54
かつお類	5 486	4 922	564	111
さけ・ます類	1 277	1 400	123	91
いわし類	32 208	17 332	14 876	186
まいわし	2 327	2 379	52	98
その他のいわし類	29 881	14 953	14 928	200
まあじ・むろあじ類	76 642	61 896	14 746	124
さば類	97 613	100 609	2 996	97
さんま	1 128	276	852	409
たら類	183	124	59	148
まだら	104	103	1	101
すけとうだら	79	21	58	376
ほっけ	12	9	3	133
いかなご・こうなご	3 234	1 275	1 959	254
その他の魚類	24 930	28 824	3 894	86
貝類	1 288	1 689	401	76
ほたてがい貝柱	34	169	135	20
ほたてがい	4	1	3	400
その他の貝類	1 250	1 519	269	82
いか類	19 605	14 172	5 433	138
するめいか	12 344	11 168	1 176	111
その他のいか類	7 261	3 004	4 257	242
その他の水産動物類	3 129	2 539	590	123
すり身	3 933	5 024	1 091	78
すけとうだら	-	-
いわし・さば	1 215	1 726	511	70
ほっけ	-	-
その他のすり身	2 718	3 298	580	82

注：1) 「生鮮冷凍水産物」は、水産物の生鮮品(丸のほか、フィレー等含む。)を凍結室において凍結したものです。

なお、すり身にして凍結したものは、「すり身」として別掲し、計に含めています。

【 統 計 表 】

1 品目別生産量（つづき）

（ 3 ）九州及び県別の主要品目別生産量

単位：t

品 目	九州	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島
1) 計	218 433	55 251	24 465	32 908	21 292	13 722	7 107	63 688
ねり製品	66 888	26 992	12 459	9 393	4 020	1 496	1 713	10 815
やきちくわ	10 697	x	x	x	x	63	142	x
かまぼこ類	44 855	13 373	8 117	8 303	1 942	1 433	1 571	10 116
魚肉ハム・ソーセージ類	11 336	x	x	x	x	-	-	x
2) 冷凍食品	24 668	2 336	3 523	5 092	x	1 731	x	8 013
3) 魚介類	8 014	1 345	30	4 125	x	424	x	1 775
4) 水産物調理食品	16 654	991	3 493	967	2 380	1 307	1 273	6 243
乾製品	43 538	2 850	4 346	14 091	1 612	6 868	2 068	11 703
素干し品	2 320	11	108	524	0	61	99	1 517
塩干品	25 328	2 669	3 989	4 819	110	5 114	590	8 037
煮干し品	15 890	170	249	8 748	1 502	1 693	1 379	2 149
塩蔵品	x	876	344	1 310	x	x	29	x
くん製品	x	-	-	x	-	x	x	x
節製品	42 042	643	32	x	10 101	x	481	30 565
節類	39 408	29	13	41	9 832	-	371	29 122
けずり節	2 634	614	19	x	269	x	110	1 443
その他の食用加工品	38 565	21 554	3 761	2 816	2 980	3 567	1 419	2 468
塩辛類	1 134	263	107	540	108	4	9	103
水産物漬物	1 570	505	860	9	x	x	x	166
調味加工品	32 711	20 745	2 794	2 044	2 817	2 085	1 404	822
その他	3 150	41	-	223	x	x	x	1 377
	千枚	千枚	千枚	千枚	千枚	千枚	千枚	千枚
5) 焼・味付のり	x	854 018	267 555	135 572	1 034 766	x	-	-
6) 生鮮冷凍水産物	273 010	19 106	56 496	92 577	2 328	18 213	11 950	72 340

注：1) 「計」には、焼・味付のり、生鮮冷凍水産物は含みません。

2) 「冷凍食品」は、水産物を主原料として加工又は調理した後、マイナス18℃以下で凍結し、凍結状態で保持した包装食品です。

3) 「魚介類」は、魚介類の切り身、むきえび等の加工品です。

4) 「水産物調理食品」は、水産物のフライ、天ぷら等、水産物を主原料とした調理食品です。

5) 「焼・味付のり」の生産量は、板のりに換算した枚数です。

6) 「生鮮冷凍水産物」は、水産物の生鮮品（丸のほか、フィレー等含む。）を凍結室において凍結したものです。

2 加工種類別経営体数

九州及び県別の加工種類別経営体数

単位：経営体

品 目	九州	4) 割合	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島
		%							
1) 実経営体数	2 025	100	281	138	642	220	160	143	441
2) 延べ経営体数	3 040	...	353	207	1 017	283	267	281	632
ねり製品	594	29	99	42	193	77	34	31	118
3) かまぼこ類	588	29	98	41	191	76	34	31	117
魚肉ハム・ソーセージ類	6	0	1	1	2	1	-	-	1
冷凍食品	118	6	12	8	32	4	16	4	42
乾製品	975	48	36	53	392	60	105	137	192
素干し品	169	8	4	16	88	3	18	23	17
塩干品	430	21	22	25	151	17	38	55	122
煮干し品	376	19	10	12	153	40	49	59	53
塩蔵品	49	2	11	5	16	1	2	4	10
くん製品	7	-	-	-	2	-	1	2	2
節製品	220	11	16	3	20	41	2	20	118
その他の食用加工品	781	39	136	53	294	72	79	60	87
塩辛類	154	8	12	10	76	13	18	7	18
水産物漬物	49	2	6	12	10	4	2	2	13
調味加工品	529	26	115	31	180	53	51	50	49
水産物つくだ煮類	86	4	12	3	20	17	14	8	12
乾燥・焙焼・揚げ加工品	251	12	19	23	109	26	12	40	22
その他の調味加工品	192	9	84	5	51	10	25	2	15
その他	49	2	3	-	28	2	8	1	7
焼・味付のり	61	3	20	16	4	20	1	-	-
生鮮冷凍水産物	235	12	23	27	64	8	27	23	63

注：1) 「実経営体数」は、調査対象となった実際の経営体数です。

2) 「延べ経営体数」は、経営体が生産している加工種類別に経営体数をカウントした合計です。

3) 「かまぼこ類」は、「やきちくわ」の経営体も含まれます。

4) 「割合」は、実経営体数に対する加工種類別経営体数の割合です。

【利用上の注意】

- 1 この資料は、水産加工統計調査の結果から九州管内分について取りまとめたものです。
水産加工統計調査は、陸上加工における水産加工品の生産量を把握することを目的として実施しているものです。
- 2 水産加工品とは、販売を目的として生産された水産加工品及び生鮮冷凍水産物をいいます。
ただし、原則として、海藻製品、水産缶詰・瓶詰め、単にゆでただけのもの等を除きます。
- 3 同一経営体が一貫加工を行った場合は、最終段階の該当品目にその生産量が計上されています。(例えば、かつおからかつお節を製造し、更に、けずり節を製造した場合は、けずり節の生産量のみが計上されます。)
ただし、生鮮品を凍結した後に加工した場合には、生鮮冷凍水産物及び該当加工品として、それぞれ計上されます。
- 4 水産加工品生産量の計には、焼・味付のりの生産量は含んでいません。
- 5 表中の記号は、以下のとおりです。
「 - 」 事実のないもの
「 ... 」 事実不詳又は調査を欠くもの
「 」 減少したもの
「 x 」 秘密保護上、数値を公表しないもの
- 6 この調査の調査期間は、平成16年1月から12月までです。
- 7 平成16年の数値は概数であり、確定値及び船上加工生産量は、『平成16年水産物流通統計年報』に記載します。

掲載内容についての問い合わせ先

電 話 : (代) 096 - 353 - 3561 内線 4758
(直通) 096 - 353 - 7579

担 当 : 九州農政局 統計部 生産流通消費統計課 流通消費統計第2係

九州農政局ホームページでも御覧になれます。

<http://www.kyushu.maff.go.jp>